

研究の範囲と方法

大巡思想の循環的経済観

発表者  [氏名]

大巡思想の循環的経済観に関する範囲と方法論

研究の背景と必要性

- 現代経済観の限界と傷

今日、大部分の人々の経済観は儒仏道と西教に基づく自由至上主義、共同体主義、社会契約主義、功利主義から抜け出せず、傷ついています。

- 経済の循環性に対する理解の不足

経済が循環であり、自動的に見える循環には絶対的存在の介入があってこそ可能であるという循環の属性を、正しく理解できていません。

- 伝統的思想による循環的解決方策

な経済思想、特に大巡思想の循環的経済観を通して解決できます。

現代の環境危機と社会危機は経済の循環を麻痺させ、技術の発達によりその麻痺はバタフライ効果のように増幅され、社会的危険を引き起こします。これは伝統に基づく新た



研究目的と範囲

- 循環的経済観の研究目的

既存の経済思想を循環的に治療しうる大巡の経済思想を研究し、易の循環原理、ラカンの循環論、複雑系科学に代表されるポストモダンの循環的方法論によって既存の研究成果を総合しようとしています。

- 融合的解決策の提示

大巡思想の循環的経済観を中心に、経済・倫理・宗教思想の融合的解決策を提示し、韓国の科学の固有特性としての循環を経済思想に適用します。

- 研究の重点範囲

儒教と西教の経済思想の衝突の解決策と、循環的経済観の具体的な形態に関する研究を重点的に扱い、既存宗教の経済倫理と大巡思想の循環的



研究方法論

● 循環論的分析体系

易の循環原理、ラカンの循環論、複雑系科学の方法論を活用した循環論的分析体系を適用します。

- 易の循環性の属性：待対（待對）、流行（流行）、中和（中和）、回帰（回歸）、増殖（増殖）
- ラカンの循環論：想像界・象徴界・現実界の循環構造の分析
- 複雑系科学：経済システムの循環的關係と非線形的相互作用の分析



比較分析的アプローチ

既
を

既存宗教

道教・仏教・儒教・西
教

比較分



大巡思想

『典経』の経済関連の
一節

● 総合的解釈の方法論

循環的経済観を個人-経済、個人-倫理、共同体-経済、共同体-倫理という四つの次元で分析し、総合的な解釈を導き出します。



論文構成体系（Ⅰ～Ⅱ章）

I

序論

II

諸宗教の経済観

I章：研究の必要性、先行研究、範囲と方法

- ＞ 現代の環境危機と社会危機は、経済循環の麻痺による危険を招く
- ＞ 伝統に基づく新たな経済思想の必要性
- ＞ の提示、大巡思想の循環的経済観研究の必要性

II章：経済・倫理・宗教、既存の諸宗教の循環的経済思想

- ＞ 財富観（貯蓄）－ 道教－ 自由至上主義
- ＞ 分配論－ 仏教－ 社会契約主義 労働
- ＞ 観（生産）－ 儒教－ 功利主義
- ＞ 財貨観（流通）－ 西教－ 共同体主義

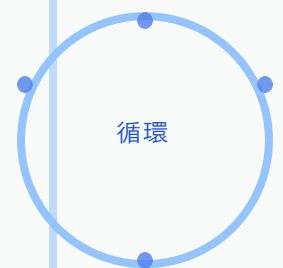


5

研究の範囲と方法

論文構成体系（Ⅲ章）

Ⅲ 宗旨に現れた
循環的経済観



Ⅲ-1章：大巡思想の循環論的特性

- > 易の循環性の属性：待対（待對）、流行（流行）、中和（中和）、回
歸（回歸）、増殖（増殖）
- > 複雑系科学とラカンの循環理論の適用分析

Ⅲ-2～5章：宗旨と『典経』の一節の比較分析

Ⅲ-2章：道教の領域

待対的（待對的）自由至上主義
の財富観

Ⅲ-3章：仏教の領域

回帰的（回歸的）社会契約主義
の分配観

Ⅲ-4章：儒教の領域

中和的（中和的）功利主義の労働観

Ⅲ-5章：西教の領域

流行的（流行的）共同体主義の財貨観

i 本研究はラカンと複雑系科学のうち循環性を強調した特定の部分を経済と関連づけたものであり、多様な解釈の可能性が開かれている

論文構成体系 (IV ~ V章)

IV 現代的価値

IV章：循環的経済観の現代的価値および経済問題への対応

- ＞ 個人-経済の側面：陰陽合徳と経済動機の回復
- ＞ 個人-倫理の側面：神人調化と経済倫理の回復
- ＞ 共同体-経済の側面：解冤相生と資本主義・共産主義の理念対立の解決
- ＞ 共同体-倫理の側面：道通真境と人類の共同体性の回復

V 結論

V章：結論、研究の限界、韓国思想とグローバル化

- ＞ 本研究の限界および個人的見解
- ＞ としての性格、大巡思想の循環
- ＞ 韓国思想のグローバル化の可能性と現代経済問題の解決策の提示
的経済観の価値の確認



研究の限界と意義

● 研究の限界 – 個人的見解

本稿における、循環を通じた複雑系としての五行現象の理解、および五行に対する諸宗教と経済思想の配置など、本稿全体の内容は大巡宗学科の公式的な立場ではなく、個人的な見解にすぎません。

● 韓国思想のグローバル化の方策

大巡思想の循環的経済観の価値は、大巡思想のみならず韓国思想のグローバル化の一つの方便となりうます。伝統に基づきながらも現代的解釈を通じて普遍的価値を創出する過程において、韓国固有の循環的思考方式を世界に伝える契機となります。

● 現代経済問題の解決策

大巡思想の循環的経済観は、現代の経済問題に対する実質的な解決策となりうます。環境危機と社会危機が経済の循環を麻痺させる現実のなかで、陰陽合徳・神人調化・解冤相生・道通真境に代表される大巡思想の原理は、経済動機の回復、経済倫理の回復、理念対立の解消、共同体性の回復を導き出すことができます。

「循環的経済観研究の新たな視角は、伝統と現代、東洋と西洋、そして経済と倫理の調和的統合を通じて、未来の経済パラダイムの基礎となりうます。」

